

製品名: SAM68 (1C18) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe17588**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:500,ICC/IF 1:200-1:500,FC 1:100-1:1000
分子量	48kDa

抗原情報

遺伝子名	KHDRBS1
別名	Khdrbs1; p62; p68; Sam68;
遺伝子 ID	10657.0
SwissProt ID	Q07666
免疫原	ヒト SAM68 の合成ペプチド

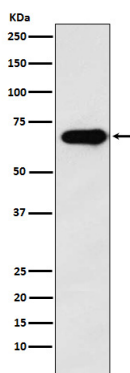
背景

いくつかの受容体システム（例えば、T細胞、レプチン、インスリン受容体）によってリクルートされ、チロシンリン酸化される。リン酸化されると、SH2 および SH3 ドメイン含有タンパク質に結合して、シグナル伝達カスケードにおけるアダプタータンパク質として機能する。いくつかの受容体システム（例えば、T細胞、レプチン、インスリン受容体）によってリクルートされ、チロシンリン酸化される。リン酸化されると、SH2 および SH3 ドメイン含有タンパク質に結合して、シグナル伝達カスケードにおけるアダプタータンパク質として機能する。細胞周期の G2-M 期進行に関与する。CBP への結合をめぐって他の核因子と競合することにより、CBP 依存性転写活性化を抑制すると考えられている。また、mRNA の安定性および/または翻訳速度の推定調節因子として作用し、mRNA の核外輸送を媒介する。構成輸送要素（CTE）を含む mRNA と大きなポリリボソームの会合および翻訳開始を正に制御する。一部の著者によると、スプライスされていない（CTE）RNA 種の核質輸送には関与していない（PubMed:22253824）。選択的スプライシングの制御に関与し、mRNA のスプライス部位選択およびエクソンの挿入に影響を与える RNA 結合タンパク質。5'-[AU]UAA-3'を 15 ヌクレオチド以上間隔をあけた二分モチーフとして含む RNA に結合します。ポリ(A)に結合します。Ras 経路依存的に CD44 の選択的スプライシングを制御できます（類似性による）。HNRNPA1 と協力して、Bcl-X(S)アイソフォームへのスプライシングを促進することで BCL2L1 の選択的スプライシングを調節し、SMN1 の選択的スプライシングも調節します（PubMed:17371836、PubMed:20186123）。ラミニン G 様ドメイン 6 において、進化的に保存されたニューレキシン選択的スプライシングセグメント 4（AS4）を含む NRXN1 および NRXN3 の選択的スプライシングを制御できます。AS4 は、ニューレキシンをシナプス後パートナーに選択的にターゲティングする役割を果たします。神経活動依存的に、KHDRBS2/SLIM-1 と相乗的に連携し、NRXN1 の AS4 におけるエクソンスキッピングを制御します。KHDRBS2/SLIM-1 との連携は、AS4 における NRXN3 の選択的スプライシングの制御に対して拮抗的です（類似性に基づく）。

研究分野

-

画像データ



A431 細胞溶解物中の SAM68 発現のウエスタン ブロット分析。